



2010.3

VOL 43

大好き いばらき



ネットワーク活動推進大会 県北・県央・鹿行ブロックでの【秋葉雛子保存会】によるオープニングアトラクション

CONTENTS

目次

特集

地球温暖化対策 県内各地の取り組み..... 2・3

つくばと大子、温暖化対策で連携

五霞町職員“eco通勤プロジェクト”/東海村地球温暖化対策地域協議会の活動

●食を通じたエコライフ運動..... 4

●茨城NPOフォーラム2010/ご近所の底力井戸端会議..... 5

●花と緑の環境美化コンクール入賞花壇パネル展/筑西市ネットワーク協議会パネル展

●ネットワーカー活動紹介..... 6

ネットワーク活動推進大会県北・県央・鹿行ブロック/県南・県西ブロック

●ネットワーク活動紹介..... 7

ネットワークあしま/牛久市ネットワーク連絡協議会

●大好きいばらき「家族・地域のきずな」フォーラムin 鹿行・県北

●春の全国交通安全運動..... 8

●第11回 大好き いばらき ふれあいまつり

●INFORMATION

大好き いばらき 県民運動

福祉社会づくり 生活環境づくり

人づくり 茨城の風土づくり

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

特集

地球温暖化対策

大好きいばらき県民会議では、生活環境づくりを県民運動の柱の一つとしております。今回は、地球温暖化対策について先進的な取り組みを行っている自治体取材しましたので、その内容をご紹介します。

つくばと大子 温暖化対策で連携

つくば市と大子町は、互いの環境特性を活かして、CO₂削減、低炭素社会の実現、地球温暖化対策実践のための「カーボン・オフセットによる環境連携協定」を締結しました。

つくば市と大子町との地球温暖化対策のための連携に関する協定調印



「つくば環境スタイル行動計画」に沿い、2030年までにCO₂排出量50%削減を目標に掲げるつくば市は、豊かな森林資源を持つ大子町と「カーボン・オフセットによる環境連携協定」を締結しました。

つくば市と大子町はお互いの特性を活かし、カーボン・オフセットを中心に(1)森林の保全・整備および地球温暖化対策(2)つくばマラソン(3)自然とのふれあい・環境学習・観光PRの3分野で連携を図ります。

地球温暖化対策での自治体の連携は県内初の試みで、「つくば大子モデル」として注目されています。



つくば市・大子町の環境連携交流

つくば市内の森林の保全・整備

大子町の森林整備関係者から指導助言を受け、つくば市内の市有林や里山の保全・整備を行います。



つくばマラソンで排出されるCO₂をカーボン・オフセットにより削減

つくばマラソンの開催により排出されるCO₂は、つくばの森を約2ha間伐することでオフセットすることができる見込みです。

つくばマラソンでの連携

つくばマラソンでは会場に大子町のブースを設け、観光パンフレットやポスターを掲示し、マラソン参加者に大子町の特産品や各種割引券等を提供します。

森林の保全・整備及び地球温暖化対策での連携

大子町町有林の保全・整備によるカーボン・オフセット

「つくばの森」と名づけられた約43haの大子町町有林の森林整備によるCO₂吸収量の増加分を、つくば市において発生するCO₂排出量とオフセットします。森林整備にかかる間伐費用には、つくばマラソンの参加費の一部が当てられます。



自然とのふれあい・環境学習・観光PRでの連携

大子町の自然を生かして、つくばの森体験ツアー、間伐作業体験、自然観察などにより、自然に親しみ、地球温暖化対策への理解を深める環境学習事業を行う予定です。

■カーボン・オフセットとは

自分の温室効果ガス(CO₂)排出量のうち、削減努力だけで達成できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量で相殺(オフセット)すること。

五霞町職員 “^Eco通勤プロジェクト”



eco通勤実施目標日数一覧表

通勤距離（片道）	実施目標日数（6ヶ月）
2 km未満	18日以上
2 km以上5 km未満	12日以上
5 km以上10 km未満	6日以上
10 km以上15 km未満	3日以上
15 km以上	1日以上

五霞町では地球温暖化対策として「五霞町職員“eco通勤プロジェクト”」を実施しています。このプロジェクトは、職員の通勤を徒歩、自転車、バスなどに切り替えることで、通勤によるCO₂の発生量を減らすことが狙いです。

きっかけは職員の発案によるもの。昨年、試験的運用を実施し、本年度から本格スタートしました。

特徴は、職員の通勤距離数に応じて目標を設定している点です。（別表参照）例えば、通勤距離が片道2km未満は半年間で18日以上、片道2km以上5km未満は同12日以上といった具合です。また、eco通勤の実施を促すため、記録表にCO₂削減量と合わせてガソリン代の削減金額が分かるように工夫してあるのも特徴のひとつです。

昨年は目標1200kgのCO₂削減に対し、2520kgのCO₂（2.2ℓのペットボトル約64万本相当）の削減に成功しました。

プロジェクトへの参加は職員に強制していませんが、本年度職員116名中106名が登録しました。

職員からは、このプロジェクトによって地域のことがよく見えるようになり、地域への愛着が湧いたという意見が数多く寄せられています。

今後は住民や企業にも“eco通勤プロジェクト”を広めていきたいと考えています。

東海村地球温暖化対策地域協議会の活動



東海村は、平成17年に全国環境自治体会議を開催しました。この時にスタッフとして活躍した住民、事業者を中心に、平成18年6月に東海村地球温暖化対策地域協議会を立ち上げました。

住民、事業者、行政が一体となって組織を構成し、3部会（ごみ減量化推進部会、省エネ家庭部会、事業所エコ部会）がそれぞれの観点から温暖化対策を検討します。進行政管理部会が全体を取りまとめ、CO₂の排出量を平成17年度比10%削減（平成23年度目標年度）達成に向け、全員参加のもとで目標に取り組んでいます。

計画を策定し、全員参加で目標を達成しようという取り組みについて具体的に伺いました。

Q1 目標に向かって計画を進捗させていく仕組みについての工夫などは？

A1 部会を3つにしたため、より具体的で実行性の高い活動ができ、自分たちで計画を策定することで、主体性と責任をもって取り組むことができ、達成感も生まれました。

Q2 市民の意識の変化について、感じていることは？

A2 各地区において「地域で環境を考える講演会」を主催したり、マイバックの持参率が上がるなど、環境意識に変化が見られました。

Q3 大好きいばらきのエコチャレンジに協力していただいた感想等は？

A3 各々工夫を凝らし節電に取り組みました。日頃の環境意識が高い分、苦勞を感じず実践できたようです。

食を通じたエコライフ運動

～もったいないの気持ちを実践へ～



地球温暖化をはじめとする今日の環境問題を解決していくため、一人ひとりが生活者の視点で、家庭や地域、学校、職場等において、環境に配慮した生活“エコライフ”を実践することが大切です。

大好き いばらき 県民会議と茨城県生活学校連絡会では、環境に優しい食材の活用と普及によるエコライフの推進と併せ、県産農産物等の消費促進(地産地消)を図るため、県内5地区で「食を通じたエコライフ運動」を開催しました。

	県北地区	中央地区	県西地区	鹿行・県南地区	鹿行地区
テーマ	エコの環と地産地消で築く循環型社会	食を通じたエコライフ運動により地域の絆を再生しよう	エコライフ運動の実践を通じて食生活を見直す	食と農を通じたエコライフの実践	安全・安心の地場食材を活用して、自給率のアップにつなげよう！ ～もったいないの気持ちを実践へ～
開催日	12月15日(火)	11月18日(水)	11月21日(土)	11月6日(金)	12月20日(日)
場 所	関本多目的集会所 (北茨城市)	小美玉市四季文化館の～れ (小美玉市)	桜川市岩瀬中央公民館 (桜川市)	行方市玉造公民館 (行方市)	潮来市延方公民館 (潮来市)
内 容	●地元食材を使い切るエコッキングメニューの提案 ●生ごみを堆肥に、食用廃油から石鹸をつくるなど、循環型社会に転換するための提案 ●地産地消の取り組み	●生産者との交流 ●地産地消、家庭菜園、規格外食材の活用の研修 ●エコッキングの事例紹介 ●「私たちにできること」を共に考え実践行動する仲間づくり	●地産地消、旬、地域食材の使用を重点におき、伝えていきたい郷土料理を作る ●生産者の現実と農産物の現状を知る ●生活学校、地域の食改、農協婦人部などとの交流	●規格外食材に対する意識改革 ●生産者との交流を計り、良好な相互関係の構築	●食と農を通じたエコライフ運動 ●「地域に住んでみんな元気！」三世交代流「ふれあいの場・延方」50回開催記念事業を含めた研修会

平成21年度 大好き いばらき 茨城県生活学校連絡会研究集会

茨城県生活学校連絡会は、大好き いばらき 県民会議及び茨城県との共催により、2月15日(月)、県三の丸庁舎(水戸市)において「平成21年度茨城県生活学校連絡会研究集会」を開催しました。

研究集会では「食と農を通じたエコライフ運動のつどい～もったいないの気持ちを実践へ～」をテーマに、「地産地消で食・農・環境づくりを

すすめよう」と題した茨城県農業総合センター指導員の本橋修二先生による基調講演や、地区生活学校の研究集会報告等を交えながら、生活学校が将来につながる活動として「今、何が出来るか」をワークショップを通して約70名の参加者とともに考え、意見を交換しました。

茨城NPOフォーラム2010

2月19日(金)三の丸庁舎において、「職場と暮らしに安心を～地域の協働でつくるセーフティネット」をテーマに、「茨城NPOフォーラム2010」を開催しました。

フォーラムには県内のNPOと企業関係者100人が集い、(株)損害保険ジャパンの関正雄氏による「ISO26000/SRに対応した組織づくり・地域づくり」と題した基調講演で、これからの組織としての社会的貢献への理解を深めました。

その後開かれた2つのテーマによる分科会では、活発な意見と質問が交わされ、充実したフォーラムとなりました。



関 正雄氏による基調講演



2つのテーマに分かれ行われた分科会

ご近所の底力井戸端会議

大好き いばらき 県民会議では、地域コミュニティ活動の活性化と地域力の向上による住民主体の地域づくりを形成するため、「ご近所の底力井戸端会議」を県内5地区で開催しました。

参加した団体が、活動現場を実際に訪れ他の団体の活動状況を自分の目で見ることにより、自分たちの活動のヒントやコツをつかみ、また他の地域や団体の方との気軽な意見交換や情報交換など活動団体間の交流が行われました。



ご近所の底力井戸端会議(高萩市) 花貫川での鮭の放流

期 日	担 当 団 体	開 催 地
3月10日(水)	花貫川清流の里づくり会	高 萩 市
	エコ・グリーンいばらき	水 戸 市
3月20日(土)	EAST WIND	神 栖 市
	とんだやばやし保存会	常 総 市
3月21日(日)	中村南4丁目会	土 浦 市

県民運動の普及啓発

花と緑の環境美化コンクール入賞花壇パネル展

大好き いばらき 県民会議では、地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高め、花いっぱい運動を推進する「花と緑の環境美化コンクール」を実施しています。

このコンクールを多くの県民の皆さまに知ってもらうため、当コンクールの入賞花壇を紹介する「第37回花と緑の環境美化コンクール入賞花壇パネル展」を、今年度は県内6カ所で開催しました。

会場では入賞団体・学校が一生懸命育てた花壇のパネルに来場者が目を細めていました。



鹿島セントラルビルでの展示

筑西市ネットワーカー協議会パネル展

2月23日(火)から2月26日(金)にかけて、しもだて地域交流センター(筑西市)において、筑西市ネットワーカー協議会(会長 関根静子氏)が、同協議会の活動を紹介するパネル展を開催いたしました。パネル展は、大好き いばらき 県民会議が貸出しを行っている県民運動パネルに加え、協議会が作成した地域独自のパネルが展示され、県民運動をわかりやすく紹介するとともに、ネットワーカー協議会の特色を出した内容でした。



他のネットワーカー協議会においても、地域独自のパネルを作成し、展示してみたいかがでしょうか？



ネットワーカー活動紹介

県内各地で地域運動を実践し、県民運動の情報発信や普及活動をしている「大好き いばらき ネットワーカー（県民運動地域推進員）」がブロック毎に集い、県民運動の発展に向け各種地域活動団体と交流を深めるため、ネットワーカー活動推進大会を開催しました。

県北・県央・鹿行ブロック

地域コミュニティの活性化
～伸ばそう！地域のつながり 地域の力～

12月13日(日) 茨城町中央公民館



『地域コミュニティの活性化～伸ばそう！地域のつながり 地域の力～』をテーマに、県北・県央・鹿行ブロックの活動推進大会が茨城町において開催されました。

会場には約250人が訪れ、熱気あふれる大会となりました。華やかなオープニングアトラクションに次いで、茨城大学教育学部の川嶋秀之教授による「ことばのつながり 地域のつながり」をテーマとした基調講演が行われました。その後会場を移し、分散会が開かれ、各地のネットワーカーが意見交換や交流を活発に行いました。参加者からは「他地域の色々な活動や意見を聞くことができました。普段無い機会なので、時間がもう少し欲しかったです。」という意見が多く聞かれました。



平成
21年度

大好き
いばらき

ネットワーカー活動推進大会

県南・県西ブロック

はじめる ささえる つなげる
ネットワーカー

1月30日(土) 土浦市民会館



約350人が参加した県南・県西ブロックの活動推進大会では、『はじめる ささえる つなげる ネットワーカー』をテーマに熱い意見が交換されました。

土浦市立都和中学校混声合唱団の爽やかな合唱の後、日立市塙山学区住みよいまちをつくる会の西村ミチ江会長による「自分たちのまちは自分たちで創る」と題した基調講演、次いで阿見町、常総市、土浦市のネットワーカーによる事例発表が行われました。その後、講師、発表者及び来場者による意見交換会があり、西村氏からは「自分たちで全てまかなわないで、どんどん周りを巻き込んで。」など貴重な意見が出され、会場からもさまざまなアイディアが交わされるほど、大会は白熱しました。最後に大会恒例の「故郷」合唱で心に残る大会となりました。



ネットワークかしま

- 設立 平成12年1月17日
- 会長 五十嵐 栄子
- 会員数 25名



鹿嶋市

若々しくバイタリティーにあふれる『ネットワークかしま』は、食と環境をテーマに活動を展開しています。毎月第一月曜日を活動日と定め、鹿嶋市や大好き いばらき 県民運動と協働しながら城山公園の花植えやせせらぎ通りの清掃など、地元の美化運動を行っています。毎年親睦を兼ねての『食と環境』に関連した研修会を企画し、去年は築地市場の視察や他市町村のネットワークとの交流会を実施しました。裁判員制度や成年後見などの勉強会や手作りで安全な料理の実習会なども開催し、活動は多岐にわたります。

会長の五十嵐さんは、「設立からちょうど10周年の節目を迎え、これからも会員同士のつながりを大切に、地道な活動を継続的に実施していきたい。」と今後の抱負を語っていました。

牛久市ネットワーク連絡協議会

- 設立 平成10年10月9日
- 会長 村 武 修司
- 会員数 22名



牛久市

分野にこだわらず幅広く活動する『牛久市ネットワーク連絡協議会』は、年一回の視察研修会や市内探索会、クリーン作戦など『いいアイディアは何でもやろう！』をモットーに、事務局を牛久市市民活動課内におき、市と密接に連携しながら活動しています。会が主催する『市長との交歓会』をきっかけに生まれた『ふれあいパーティー』は毎年抽選になるほどの盛況で、多くのカップルが誕生し、すでに一組結婚に至る成果を上げています。「課題は若い会員を募り活動を将来につなげることです。」と語る会長の村武さん。「ここでの活動が一番楽しいです。活動は、遊び心で楽しくやるのが長続きの秘訣です。今まで他所の会との交流会のお話があっても実現出来ていないので、いつか実現させたいですね。」とこれからの希望を述べていました。

in鹿行

潮来市中央公民館

12/8

in県北

北茨城市民ふれあいセンター

3/12

大好き いばらき
家族・地域のきずなフォーラム

大好き いばらき 県民会議では、「家族・地域のきずな」フォーラムを県内各地で開催しています。

鹿行地区においては、12月8日に潮来市中央公民館、県北地区においては3月12日に北茨城市民ふれあいセンターで開催しました。

「家族・地域のきずな」フォーラムは、平成20年度から事業を開始し、今回で県内5地区での開催が終了しました。平成20年度 県西(筑西市)、県央(水戸市)、平成21年度 県南(土浦市)、鹿行(潮来市)、県北(北茨城市)



第1部では、現代社会において希薄になっている絆を再生するために子守唄指導員から「子守唄を活用した子育て」についての話を聞いた後、子守唄を中心としたコンサートが行われました。参加した方々は優しい歌声を聞きながら子守唄の子育てにおける効用を実感されたようです。

第2部の子育てトークでは、主に若いお母さま方から日頃の育児に関する不安などが打ち明けられましたが、子育ての先輩から安心できるアドバイスがなされるなど、地域において有意義な交流を図ることができました。

はじまります！春の全国交通安全運動 4月6日～4月15日

待つ心
ゆるる気持ちで
なくす事故



交通事故の多くは、交通ルールの軽視とマナーの欠如によるところが多く、特に車の最高速度違反、酒酔い、信号無視、自転車の二人乗り、夜間無灯火、歩道での並走や暴走等の危険な走行、歩行者の走行車両の直前後横断などが社会問題となっています。

運転者、自転車利用者及び歩行者の県民一人ひとりが交通ルールを守り、マナーの習得と向上を図りましょう。

平成21年度茨城県交通安全ポスター作品コンクール
最優秀賞（茨城県知事賞）
筑西市立関城中学校3年（受賞時） 苗木 春奈さん

まもろう!! ルール



たかめよう!! マナー

第11回 大好き いばらき ふれあいまつり ～発見！体験！春の三の丸。～

茨城県三の丸庁舎及びその周辺を舞台に、多くの県民が集い、憩い、交流し、「いばらき」を再認識するとともに、地域の活性化を図るため「大好き いばらき ふれあいまつり」を開催します。出店やアトラクション、楽しい催しが盛りだくさんです。ご家族、お友達をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

■日 時 平成22年4月3日(土)10:00～16:30

雨天の場合は翌日4日(日)に順延

■会 場 茨城県三の丸庁舎(旧県庁舎)広場とその周辺

- 内 容
- 県産品市場(飲食・物販)○ふれあいひろば(各種体験コーナー等)
 - 県民運動かわら版(県プロジェクトPR等)○バザーコーナー
 - ステージイベント
各市民団体による発表
 - 会場イベント
わくわく体験イベント(木の名札づくり、牛乳パック工作等)
いばらき物知りクイズ
大洗高校マーチングバンド「BLUE-HAWKS」
水戸工業高校ジャズバンド「BLUE BEGINNERS」
商店街散策ふれあいスタンプラリー
歴史探訪ふれあいウォーキング・歴史探訪クイズラリー など
 - 同時開催イベント
弘道館入館無料・県立図書館イベント「NHKの映像で見る茨城」



第10回 大好き いばらき ふれあいまつりの様子

INFORMATION

茨城県における現在の
NPO認証数

389件(H22.3.1現在)

パネル貸出し
開始!

【実績】

★常陸大宮市 ★日立市
★ネットワーク総会
★常総市 ★霞ヶ浦市 ★小美玉市
★筑西市 他問い合わせ多数

今年度から、県民運動及び花と緑の環境美化コンクール優秀花壇のパネルの貸出しを開始しました！パネルの借用を希望する団体は、気軽に事務局までお問い合わせください。

投稿記事を募集しています！

皆さんの活動をPRしてみませんか？
大好きいばらき県民会議では、皆様からの投稿記事を募集しています。
豊かな地域づくりのために、活発に展開されている地域活動等をホームページや広報紙で紹介します。ぜひ、ご投稿ください！



【編集後記】

今年は21世紀に入って10年の節目を迎えています。この10年、ワールドカップ、生涯学習フェスティバル、ねんりんピック、国民文化祭など、国内・国際大会が茨城の地で開催され成功を収めました。3月には茨城空港が開港しました。“やさしさとふれあいのある茨城を創ろう”という県民運動が地域活動の大きな原動力となってきています。これからも地域の活動を広報してまいります。(広報部会委員長 藤田絹代)



大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F
TEL029-224-8120 FAX029-233-0030

URL <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>
E-mail info@daisuki-ibaraki.jp